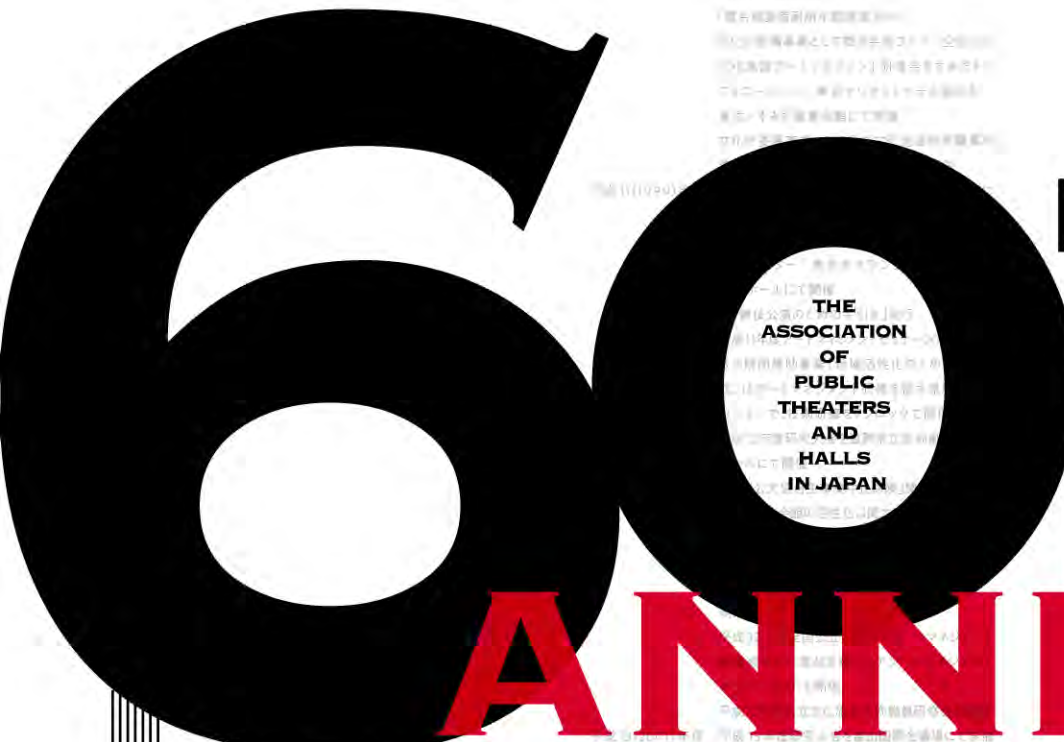


造推進事業「文化芸術収益力強化事業」
 劇場・音楽堂等コンテンツ配信ポータルサイト
 「公文協シアターアーカイブス」構築及びパイロット
 公演公募動画配信事業を実施
 令和3(2021)年度 「公立文化施設休業等補償保険」開始
 日枝 久会長退任(令和3年6月10日)
 第5代野村 萬斎会長就任(令和3年6月10日)
 令和3年度研究大会を栃木県総合文化センター
 にて開催
 専門委員会(経営環境部会・事業環境部会・特別
 部会)検討PTの設置
 文化庁補助事業「大規模かつ質の高い文化芸術
 活動を核としたアートキャラバン事業」

Anniversary year



ANNIVERSARY

THE

SINCE 1961

- 昭和36(1961)年度 昭和36年9月25日、東京において23施設により任意団体「全国公立文化施設協議会」を結成
- 昭和41(1966)年度 「会報」を発行
- 昭和42(1967)年度 「公文協歌舞伎」始まる
- 昭和45(1970)年度 「舞台安全の手引き」刊行
- 昭和48(1973)年度 「年次報告書」(現在の研究大会報告書の前身)刊行、以後毎年刊行
- 昭和49(1974)年度 「自主文化事業振興の手引き」刊行
- 昭和50(1975)年度 「施設賠償責任保険」始まる
「業務管理委員会の経過報告(第1回)」刊行
- 昭和51(1976)年度 「公演事業資料」刊行(公演企画 Naviの前身)
- 昭和54(1979)年度 情報連絡制度の組織網確立
「公立文化施設の施設・設備更新等に関する実態調査について」結果発表
「自主文化事業担当者研究会」始まる
- 昭和55(1980)年度 「舞台機構調整(音響技術)」の技能検定始まる
「レーザー光線の使用禁止」を申し合わせ
「業務管理委員会の経過報告(第2回)」刊行
「文化振興に関する立法化促進対策委員会報告書」「同説明書」を刊行
- 昭和58(1983)年度 地区活動充実のため、地区協交付金を会費の1割とする
「公文協歌舞伎」(西日本コース)始まる
- 昭和59(1984)年度 「高音圧規制(自費要請)」の通知を出す
- 昭和60(1985)年度 「永年勤続職員表彰」始まる
「公文協通信」刊行始まる
統一企画巡回公演実施
- 昭和63(1988)年度 「公立文化施設の運営に関する実態調査」刊行
「レーザー光線の使用禁止」を解除
- 平成2(1990)年度 全国公文協第30回記念誌「あゆみ」刊行
「公文協加盟施設における事故例と技術的対策調査(結果)」刊行
- 平成3(1991)年度 「自主文化事業振興のために」刊行
「自主文化事業実施状況調査」ほか全国調査の実施
(財)全国税理士共済会文化財団の助成を受け、全国公立文化施設アートマネジメント研修会・技術職員研修会を開催
- 平成4(1992)年度 全国公立文化施設アートマネジメント研修会・技術職員研修会を開催(文化庁共催)
- 平成5(1993)年度 スーパーミュージカル「源氏物語」の共同公演(文化庁後援)15施設で実施
- 平成6(1994)年度 臨時理事会で法人化基本方針決定
舞台音響の手引き「音響」刊行
「公立文化施設現況調査(第1回)」施設管理

全国公立文化施設協会 60周年記念誌

昭和36(1961)年度 昭和36年9月25日、東京において23施設により任意団体「全国公立文化施設協議会」を結成

昭和41(1966)年度 「会報」を発行

昭和42(1967)年度 「公文協歌舞伎」始まる

昭和45(1970)年度 「舞台安全の手引き」刊行

昭和48(1973)年度 「年次報告書」(現在の研究大会報告書の前身)刊行、以後毎年刊行

昭和49(1974)年度 「自主文化事業振興の手引き」刊行

昭和50(1975)年度 「施設賠償責任保険」始まる
「業務管理委員会の経過報告(第1回)」刊行

昭和51(1976)年度 「公演事業資料」刊行(公演企画 Naviの前身)

昭和54(1979)年度 情報連絡制度の組織網確立
「公立文化施設の施設・設備更新等に関する実態調査について」結果発表
「自主文化事業担当者研究会」始まる

昭和55(1980)年度 「舞台機構調整(音響技術)」の技能検定始まる
「レーザー光線の使用禁止」を申し合わせ
「業務管理委員会の経過報告(第2回)」刊行
「文化振興に関する立法化促進対策委員会報告書」「同説明書」を刊行

昭和58(1983)年度 地区活動充実のため、地区協交付金を会費の1割とする
「公文協歌舞伎」(西日本コース)始まる

昭和59(1984)年度 「高音圧規制(自費要請)」の通知を出す

昭和60(1985)年度 「永年勤続職員表彰」始まる
「公文協通信」刊行始まる
統一企画巡回公演実施

昭和63(1988)年度 「公立文化施設の運営に関する実態調査」刊行
「レーザー光線の使用禁止」を解除

平成2(1990)年度 全国公文協第30回記念誌「あゆみ」刊行
「公文協加盟施設における事故例と技術的対策調査(結果)」刊行

平成3(1991)年度 「自主文化事業振興のために」刊行
「自主文化事業実施状況調査」ほか全国調査の実施
(財)全国税理士共済会文化財団の助成を受け、全国公立文化施設アートマネジメント研修会・技術職員研修会を開催

平成4(1992)年度 全国公立文化施設アートマネジメント研修会・技術職員研修会を開催(文化庁共催)

平成5(1993)年度 スーパーミュージカル「源氏物語」の共同公演(文化庁後援)15施設で実施

平成6(1994)年度 臨時理事会で法人化基本方針決定
舞台音響の手引き「音響」刊行
「公立文化施設現況調査(第1回)」施設管理

公益社団法人全国公立文化施設協会

会長ご挨拶



会長 野村 萬斎

公立文化施設の活性化と 地域の新しい価値の創造へ。

公益社団法人 全国公立文化施設協会は、令和3年9月に設立60周年を迎えました。人間に例えると、同年6月に会長に就任した私よりも少しだけ年上となります。この間、公立文化施設を取り巻く状況は大きく変わりました。当初は設置自治体による直営が中心でしたが「地方の時代」を経て自治体設置の財団による運営が増加。その後の指定管理者制度の導入により民間企業やNPO法人等も運営に参画し、各々の施設に合わせた多様な運営形態となってきています。また平成13年の「文化芸術振興基本法」の制定を受け、平成24年には超党派の議員立法により「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(劇場法)」が制定され、国からの支援策も体系化されました。

施設に求められる役割や期待も増え、鑑賞や発表機会を提供するだけでなく、文化芸術を担う人材育成や初等教育等と連携した普及啓発、さらには障がいのある人や外国人等に社会参加の機会を提供する社会的包摂など、地域における文化芸術の拠点となっています。一方で、経年による耐震や大規模改修、自治体の財政状況による文化関係予算の縮減等、新たな課題も発生しています。

また令和2年春に発生した新型コロナウイルス感染症によって、公立文化施設を含め文化芸術にとっては目下として困難な時期が続いており、そのなかで迎えた60周年です。文化芸術は決して不要不急なものではなく、人々の生活に生きる活力を与える、なくてはならないもの。次の10年に向かって、役員や会員一同その思いを新たに、力を合わせて邁進したいと考えます。

記念誌発刊のご挨拶

おかげさまで全国公立文化施設協会は、令和3年9月をもちまして設立60周年を迎えることができました。これまで順調に発展することができたのは、ひとえに各会員施設の皆さまや運営を担われてきた諸先輩方、芸術団体をはじめとした舞台芸術関係者、そしてなにより各地域で施設を支えていただきました市民や住民の皆さま方のご支援とご指導の賜物と、心より厚く感謝申し上げます。

当初は23施設を会員とする任意団体でしたが、高度経済成長期における文化芸術への関心の高まりを受け、各地で新規施設が建設されたことで会員数が順調に増加。現在は1,300館を超え、社団法人を経て公益法人化いたしました。

未だ新型コロナウイルス感染症の先行きが見通せない時期ではありますが、ここに記念誌を発刊することで協会の活動や施設の状況の一端をお示しし、各施設のさらなる発展の一助といたします。つきましては、ご高覧いただけますと幸いです。

全国公立文化施設協会 60周年記念誌編集委員会

文化庁長官祝辞

このたびは、公益社団法人 全国公立文化施設協会の創立60周年を迎えられた事、心よりお慶び申し上げます。

貴会の創立からの歩みを振り返りますと、昭和36年に従前の任意団体「全国公立文化施設協議会」を母体として、平成7年6月に文部大臣の認可を得て発足、平成25年4月内閣府の認定を受け公益法人に移行し、全国の国公立文化施設の連携の下、地域文化の振興と我が国の文化芸術の発展に寄与することを目的に各種事業を行ってこられたと承知しています。調査研究業務や人材育成業務などの数々の活動により、地域の文化施設の円滑な運営と地域文化の向上に長きにわたり多大なる貢献をされ、その功績は誠に顕著であり、これまでの貴会の関係の皆さま方のご尽力に深甚なる感謝の意を表します。

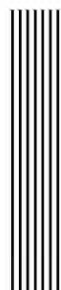
文化施設は、文化芸術を継承し、創造し、発信する場であり、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するなど、文化芸術の拠点として欠かせない存在です。文化芸術振興基本法の基本理念にのっとり、我が国の実演芸術の水準向上等を通じて、心豊かな国民生活や活力ある地域社会の実現を目的とした「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」は、施行から10年が経過いたしました。文化庁といたしましては、引き続き法の目的や文化施設の振興の重要性を踏まえ、さらなる活性化に向け取り組んでまいります。

昨今の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行・拡大は、社会・経済をはじめとする我々の日常に対して大きな影響を及ぼしましたが、このような未曾有の困難と不安のなか、人々の心を癒し、勇気づけてきたのが文化芸術の力であったことは言うまでもありません。文化施設の活動に携わられる貴会が、文化芸術の灯を絶やさぬよう、最大限の努力を継続されていることに対しても敬意を表します。

文化芸術は人生に潤いと楽しみをもたらすものであり、生きる喜びにつながるものです。その文化芸術の振興の場である文化施設を守り、発展させようとしてご尽力されている貴会の今後のますますのご発展を心から祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



文化庁長官 都倉 俊一



協会の目的

当協会は、国や地方自治体等によって設置された全国各地の劇場・音楽堂などの文化施設が連絡、提携して地域文化の振興と地域社会の活性化を図ることを通じ、我が国全体の文化や芸術の発展と心豊かな社会の実現に寄与することを目的としています。

1 地域の文化振興及び地域社会活性化への取り組み

文化施設の円滑な運営と地域の文化振興のため、年1回の研究大会を開催するとともに、複数の専門委員会を通年で設置し、独自の調査研究活動を行っています。また管理運営・貸館事業・自主企画事業・舞台技術など、各分野に携わる職員を対象とした研修によって人材育成を推進するほか、事業実施や管理運営に必要な各種情報の収集・提供を行いながら、各施設からのさまざまなお問い合わせ・ご相談への対応も行っています。

2 各団体との連携による会員施設への支援

各地の公立文化施設と芸術創造団体や文化芸術団体との仲立ちを行い、施設の活性化支援を通じて地域の文化振興に尽力しています。特に昭和42年より松竹(株)との連携により実施している「公文協歌舞伎」では、50年以上にわたって各地の公立文化施設の自主事業やネットワーク公演への支援を行っています。

3 公文協制度保険の提供

文化施設の管理運営に役立てていただけるように設計した、文化施設専用の保険である「公文協制度保険」を取り扱っています。団体加入によるスケールメリットを活かした保険料体系にて各種損害保険を会員施設に提供し、安全安心な施設運営ができるよう支援しています。

当協会の概要

■ 会員数 (令和4年8月1日現在)

正会員 1,306 館
準会員 30(企業・団体・個人)
賛助会員 87(企業・団体・個人)

■ 組織について

意思決定機関：総会・理事会
役員：会長1、副会長1~2、専務理事1、常務理事1
理事8~15(会長・副会長・専務理事・常務理事を含む)、監事2
支部：北海道、東北、関東甲信越静、東海北陸、近畿、中四国、九州
専門委員会：経営環境部会、事業環境部会、特別部会

23
MEMBERS

| | |
|---------------|--|
| 昭和 36(1961)年度 | 昭和36年9月25日、任意団体「全国公立文化施設協議会」を結成 (会員数：23館/会長：東京文化会館 館長) |
| 昭和 42(1967)年度 | 「公文協歌舞伎」始まる |
| 昭和 47(1972)年度 | 分科会制度の研究大会始まる |
| 昭和 48(1973)年度 | 「年次報告書」(現在の研究大会報告書の前身)刊行、以後毎年刊行 |
| 昭和 50(1975)年度 | 「施設賠償責任保険」始まる |
| 昭和 51(1976)年度 | 「公演事業資料」刊行(公演企画 Naviの前身) |
| 平成 2(1990)年度 | 全国公文協第30回記念誌「あゆみ」刊行 |
| 平成 3(1991)年度 | (財)全国税理士共栄会文化財団の助成を受け、 全国公立文化施設アートマネジメント研修会・技術職員研修会を開催 |
| 平成 4(1992)年度 | 全国公立文化施設アートマネジメント研修会・技術職員研修会を開催(文化庁共催) |
| 平成 7(1995)年度 | 文部大臣の許可により「社団法人 全国公立文化施設協会」発足 (会員数：1,182館/初代会長：遠山 一行) |
| 平成 8(1996)年度 | 初代：遠山 一行 会長退任、第2代：三善 晃 会長就任 |
| 平成 12(2000)年度 | 「全国公文協自主事業中止保険」開始 |
| 平成 13(2001)年度 | 「全国公文協ホームページ」リニューアルオープン |
| 平成 14(2002)年度 | 「全国公文協貸館対応興行中止保険」「全国公文協施設(火災)災害総合保険」開始 |
| 平成 16(2004)年度 | 第2代：三善 晃 会長退任、会長代行を経て第3代：大賀 典雄 会長就任 |
| 平成 21(2009)年度 | 「公文協歌舞伎40年史」発行 |
| 平成 23(2011)年度 | 事務局を現在の東京都中小企業会館(中央区銀座2丁目10番18号)4階に移転 第3代：大賀 典雄 会長没、会長職務代理を経て第4代：日枝 久 会長就任 「文化芸術による復興推進コンソーシアム構築に係る事業」開始 メールマガジン「全国公文協 情報フォーラム」創刊 |
| 平成 24(2012)年度 | 「(社)全国公立文化施設協会」と7つの地区公立文化施設協議会を統合、支部として発足 |
| 平成 25(2013)年度 | 内閣府の認定により公益社団法人に移行 準会員制度を新設 |
| 平成 26(2014)年度 | 「社団法人・財団法人向け役員賠償責任保険」開始 冊子「公演事業資料」に代わる公演情報の総合サイト「公演企画 Navi」の開設 |
| 平成 28(2016)年度 | コーディネーター制度(専門人材情報)始まる |
| 平成 29(2017)年度 | 専門委員会を経営環境部会、事業環境部会、特別部会の3部会に再編 |
| 令和元(2019)年度 | 制度保険 webサイト(会員専用)運用開始 |
| 令和 2(2020)年度 | 「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の策定をはじめ、 感染症対策支援事業を実施 |
| 令和 3(2021)年度 | 「公立文化施設休業等補償保険」開始 第4代：日枝 久 会長退任、第5代：野村 萬斎 会長就任 |

MEMBERS

1,306

各支部活動報告

支部名

▶ **北海道支部**

所属正会員数

▶ **50**館

地域の特徴

北海道は面積が広く、世界遺産である知床などをはじめ、自然豊かで山がちな地域です。また、他の地域と比較して公立文化施設数、公立文化施設協会加盟館数ともに少ない地域でもあります。その中で、各地区には地域特性に応じた独自の風習や文化があり、その特徴を生かした行事や催物などが行われています。



近年の主な取り組み

先述のとおり北海道は面積が広い上に山がちであり、各館同士の距離が離れていることが多く、普段は館同士で交流する機会が設けづらい環境にあります。そこで、文化庁委託事業である「地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会」を活用し、札幌開催の翌年は道央・道南/道北/道東の3つのエリア持ち回りで開催するというように研修会を交互に実施することによって、参加した各館同士の交流・繋がりや結びつきを深め、各地域の理解の浸透を図っています。

また地元北海道を含めた全国各地から講師の方々にお越しいただき、時代に即した研修を行って各館職員の知識やスキルアップの向上を図るとともに、東京で開催された「劇場・音楽堂等職員人材養成講座基礎編」の内容を定期的に研修テーマに取り入れ、新規採用職員や自治体で初めて館の運営に携わる職員が運営や業務に馴染めるようにしています。

今後の展望

北海道においても過疎化が進む地域が多くありますが、それぞれの文化を守っていくためにも、各地の公立文化施設の存在や役割はますます重要になってくるものと考えます。そのために地域全体で何ができるか、どのような取り組みが必要なのか。館数が少ない分、より密接に連携・協力しながら課題に向き合っていく必要があると感じています。

支部名

▶ 東北支部

所属正会員数

▶ 147館

地域の特徴

東北地方は四季折々の変化に恵まれ、日本海側と太平洋側で大きく異なる気候を持つ地域です。多様な伝統文化が根付く各県では、例年伝統的な夏祭りが開催され、大きな観光資源にもなっています。当支部では、内部の連携を強化しながら、地域の特色を生かした文化芸術活動の支援や活性化を図ることを掲げております。



近年の主な取り組み

当支部では、内部組織として「業務管理部会」、「自主文化事業部会」および「技術部会」を設けて活動しています。

(1) 業務管理部会について

危機管理、指定管理者制度の課題等について、研究会を行っています。東日本大震災を踏まえた想定外の自然災害への対策など、時宜を得た内容をテーマに、現在および将来の業務において必要となる知識を深めています。

(2) 自主文化事業部会について

アートマネジメントに関する知識を幅広く習得するために、研修会を行っています。文化政策の専門家や、先進的な施設の職員を講師に招き、講習会を開催するとともに、研修開催県の特色を生かした伝統文化の事例紹介等も行い、地域の資源である人材や組織を生かす取り組みも行っています。

(3) 技術部会について

舞台技術や安全管理に関する知識を習得するため、研修会を行っています。舞台技術の基礎、最新舞台機構の情報などについて、音響・照明・舞台を専門とする事業者や各分野の専門家を招き、実践的な研修を行うことにより、専門的人材の育成に取り組んでいます。

今後の展望

11年前の東日本大震災の影響が今なお色濃く影を落としている中で、一部の文化施設からは令和4年3月に福島県沖で発生した地震による甚大な被害報告も受けております。当支部といたしましては、こうした体験を踏まえつつ、地域固有の文化を生かし、幅広い世代の人々が心豊かな生活を送れるよう、加盟館との連携を一層強化してまいります。

各支部活動報告

支部名

▶ **関東甲信越静支部**

所属正会員数

▶ **401**館

地域の特徴

協会加盟館全国約1,300館のうち、当支部は関東甲信東海の一部を含めた1都10県約400館が加盟する大所帯です。各都県公文協の活動が活発で、前身の任意団体の頃から施設の管理に関する諸問題や技術面、自主事業面などについて研修会等を実施し、情報交換や交流が行われてきました。



近年の主な取り組み

当支部には支部委員で構成する課題検討会のほか、管理部会、技術部会、自主事業部会の3部会が設けられています。課題検討会では、主に支部運営全般に関する課題について、各部会では地域の公立文化施設が抱える諸問題等について情報交換や調査研究を実施しています。また、管理部会と自主事業部会合同による地域別アートマネジメント研修会、技術部会による地域別技術研修会を開催し、支部加盟館の企画力や技術力などの向上、人材養成等に取り組んでいます。

令和元年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響から、しばらくの間はオンラインによる情報交換が主体となっていました。しかし令和3年度は新潟市音楽文化会館を会場に、対面方式で地域と文化施設との関わり方などをテーマとしたアートマネジメント研修会を開催したほか、彩の国さいたま芸術劇場を中心に動画配信関連の技術研修会をハイブリッド形式で実施しました。各部会が公立文化施設の現状や状況に応じたテーマ設定を行うなど、多くの加盟館が参加できるような環境を整えています。

今後の展望

新型コロナウイルス感染症の収束はまだまだ見えず、さらに自然災害や少子高齢化など社会を取り巻くさまざまな課題が存在します。文化芸術の果たす役割は大きく、地域拠点としてその特徴や独自性を生かし、加盟館が連携を図りながら直面する地域の諸課題に積極的に関わっていく必要があります。

支部名

▶ 東海北陸支部

所属正会員数

▶ 164館

地域の特徴

東海北陸支部は、福井、石川、富山、岐阜、三重、愛知の6県をエリアとしています。支部内のそれぞれの地域で活発な活動を行っている劇場が多く、愛知県芸術劇場が各地域のハブの役割を担い、支部委員会内で活発な議論が展開されています。そして、支部委員会での各劇場担当者間の仲がとて良いのも特徴の一つです。



近年の主な取り組み

○劇場運営

新型コロナウイルス感染症対策、受動喫煙対策、災害対応等、お客さまが心配され劇場職員が留意すべきテーマについて、素早い対応で積極的に取り組んできました。

○アートマネジメント

アートマネジメントの概論から始まり、少ない予算でも実現できる自主事業のやり方、広報、自主財源の確保の仕方等を取り上げました。

○舞台技術

各メーカーの協力を得て、照明LEDやデジタル音響、舞台の安全対策等、先端分野をいち早く研修テーマとして取り上げてきました。

○その他

全国公文協からの要望に真摯に応えるかたちで、全公文の各部会に参加する職員は支部および役職職員ではなく中堅職員としています。これは、若い世代にも積極的に全国劇場の動きを肌で感じてもらい、次世代の職員を育てていくことへの取り組みでもあります。

今後の展望

今後においても、映像配信・舞台技術・安全に対する最先端技術や劇場運営に関する知識を広く周知し、地域格差が生じないような取り組みを積極的に行っていきます。また現在の支部内連携をさらに良好とすべく、劇場間の事業連携や情報ネットワーク化がしやすい支部となるよう努力していきます。

各支部活動報告

支部名

▶ **近畿支部**

所属正会員数

▶ **191**館

地域の特徴

関西2府4県で構成される当地域は、古くから「畿内」「近畿」と呼ばれ、それぞれの地域で育んできた独自の芸術文化が根付いており、その多様性と多重性が特長であるとともに強みともなっています。当支部ではその点を尊重しながらも、各々の芸術文化の継承・発展が地域全体の発展に寄与し、豊かな文化に支えられた地域として次世代に継承されることを目的としています。



近年の主な取り組み

専門人材の育成や指定管理・施設維持管理に係る施設の運営課題のほか、新型コロナウイルス感染症、デジタル化への対応など、施設を取り巻く環境は厳しさを増しています。その一方で「地域の広場」として、多くの人が集まり、人々が元気になることができる公立文化施設に対して寄せられる期待は一層大きなものとなっています。

(1) 人材育成

各施設が直面する課題をテーマとする研修会の開催や支部委員会・専門部会を行うとともに、特に専門人材の育成については、平成26年度よりびわ湖ホール(共催：近畿支部)を中心とした研修等も行っています。

(2) 情報交換

施設運営に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症について、

- ① 観客や公演関係者・職員等の健康管理や感染対応
- ② 劇場における換気や手指消毒・検温・マスク着用等の各種感染症対策やその広報
- ③ 公演の開催可否やレストラン・ビュフェの営業可否等

に至るまで、安全・安心な施設運営を行うため、支部内での情報交換を活発に行っています。

今後の展望

芸術文化を取り巻く環境が厳しさを増すなか、今後の施設運営は不透明感が一層増しています。一方で、オンライン会議により他館との意見交換が容易になったことから新しい連携も形成されています。当支部では、各地域の特性を尊重し文化庁の京都移転も契機としつつ、芸術文化への理解が広がる活動の連携・協働を通して、地域全体の芸術文化発展に寄与していきます。

支部名

▶ 中四国支部

所属正会員数

▶ 171館

地域の特徴

当支部は、南は太平洋から北は日本海に至る9県で構成されています。太平洋側、瀬戸内海に面した地域、日本海側と、それぞれ特徴ある文化圏が存在するといわれています。海に面し、また山深い地域が多く、各地で特徴ある伝統文化が育まれてきましたが、過疎化が進行し文化の継承が難しくなっています。これらの問題にも焦点を当て、支援していくことが求められています。



近年の主な取り組み

○支部運営事業の継続と発展

当支部独自の運営事業として、毎年「業務管理研究会」を実施しています。各県持ち回りで担当館を決めて開催。加盟各館から課題を挙げてもらい、それに対し各館が寄せた回答をまとめて提示する形式で運営しています。開催館で課題・回答を取りまとめる作業が煩雑で負担が大きくなっていましたので、事務の負担軽減を考える提案がなされ、検討しているところです。加盟館にとってはぜひとも欲しい有益な情報ですので、さらに各館のホール運営に生かせる研究会となるようブラッシュアップしていきます。

○地域連携事業の取り組み

公文協加盟館が企画し、複数の館が連携して共同制作・上演を行う事業を積極的に進め、地域文化振興に寄与してまいります。

今後の展望

エリアが広範なため移動に時間がかかる施設もありますが、委員会や研修・研究会を通じて活発な運営がなされ、一体感のある支部です。中小規模館が多い地域でもありますので、各県各館の状況把握に努め、規模の大小を問わず手を携えて課題に取り組んでいきます。支部内はもとより全国公文協、自治体等との連携もさらに強めていく必要があると考えています。

各支部活動報告

支部名

▶ **九州支部**

所属正会員数

▶ **182**館

地域の特徴

九州・沖縄地方は日本列島の西南端に位置し、隣接する中国大陸や朝鮮半島など、東アジアをはじめとする世界との文化や経済の交流が古来より盛んな地域です。中央との地理的な距離はありますが、今日の情報技術や連絡手段の発展により状況等を把握しながら支部内の交流および意見交換を行い、地域に根差した文化施設の活用と地域文化の振興に取り組んでいます。



近年の主な取り組み

○地域文化の振興

指定管理者制度の導入、劇場法の制定、コロナ禍などの劇場を取り巻く様々な諸課題をテーマとした地域別劇場・音楽堂等職員(アートマネジメント/舞台技術)研修会を行い、自主事業等を企画する能力、管理運営能力の養成、および舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識や技術の習得に努めています。

また、組織、運営に焦点を当てた会館業務の管理者セミナーとして、業務マネジメントセミナーを実施しております。

○地域内劇場職員の連携、交流

地域別劇場・音楽堂等職員(アートマネジメント/舞台技術)研修会の実施にあたっては、実施館と会場館に役割を分け、相互に協力して研修会を準備・開催することで劇場職員間の連携を図っております。

今後の展望

新型コロナウイルス感染症の影響により、停滞していた芸術文化活動が再開されつつある状況下において、地域の芸術文化の再興を図ることが求められております。「九州は一つ」を合言葉に連携を深め、8県それぞれの特徴ある文化の継承と発展に寄与していく所存です。またコロナ禍により疲弊した社会を、文化芸術の力で豊かなものへ変えていけるよう、地域文化の活性化と新しい価値の創造に繋がる活動への取り組みに努めてまいります。

専門委員会活動報告

部会名

経営環境部会

委員会の目的

専門委員会における経営環境部会は、全国の加盟館の施設運営に関する課題、また広域連携のネットワークを形成していく上で公文協が担える役割等について検討しています。さらに指定管理者制度、公益法人制度、寄付税制等、組織や施設運営を取り巻く課題に関し、公文協を通じて国や関係機関等への提言を行っています。

近年の主な取り組み

令和4年6月の研究大会(山形県)のテーマについて初回の部会会議で議論した結果、まず加盟館全体にアンケート調査を実施することとしました。結果、館単独ではなく広域ネットワークによる情報共有や助け合いが必要だという共通認識に加え、県域レベルでの拠点館が機能しているエリアと不十分なエリア、拠点館のないエリアなど、現状では地域によって大きく事情が異なることを把握できました。それを踏まえ、公文協が具体的な業務としてどのような方向性でフォローできるのか、調査研究を進めることとなりました。その際、大規模施設の課題のみを解決する調査研究とならぬよう、中小規模施設に勤務する職員もメンバーに含めてプロジェクトチーム(以下:PT)をテーマ別に3チーム組織し、外部関係者へのヒアリングやオンライン会議を重ねることによって調査研究活動を実施しました。

PT1: 有効に機能している県立施設の事例研究

PT2: 県立施設に頼らない中間支援組織によるハブ機能の事例研究

PT3: 広大な面積の土地であり、道立拠点施設がない北海道の事例研究

結果的に、研究大会では上記3つのPTによる中間発表を実施し、各事例紹介とディスカッションを行いました。その際、別視点による全国ネットワークの事例ということで、日本芸能実演家団体協議会によるアートキャラバン地域連携型事業(多元プラットフォーム)の紹介も行いました。

今後の展望

今後の展望としては、令和5年の研究大会(那覇市)を最初のゴールとし、公文協が具体的な業務としてフォローできる機能(広域的なネットワークによる情報共有や助け合いの実現)について、最終的な取りまとめを行うことにしています。その目的をより実効的に推進していくために、現在の3つのPTで調査研究活動を継続していきます。

部会名

事業環境部会

委員会の目的

事業環境部会は「地域の文化芸術の振興」と「公立文化施設の活性化」を目指し、全国の施設の事業に必要な各種情報の収集、各地域の事業の現況把握、そして課題協議と分析・検討を進めながら調査研究を実施しています。また、独自テーマを設けて新規プロジェクトに取り組み、発展的な意見交換なども行っています。そして次期総会での研究大会に向けた事例および研究成果発表と、新たな提案を行うことを目的としています。

近年の主な取り組み

令和3年度から「公立文化施設のこれからの連携」をテーマとし、公文協として公立劇場の自主事業を今後どう支援していけるか、実際にどのような運用を提案すればいいのかを協議しています。その際には管理者側の議論だけでなく、制作現場側にも集まってご提案いただけるプロジェクトチーム(PT)づくりを進めました。地域住民のニーズを踏まえた質の高い事業を、各施設の実情に応じた実効性のある対応策に取りまとめて実施していくことを理念としています。

PTのメンバーについては、事業に直接携わり精通している方を各支部から10名推薦いただき、令和3年9月からPT会議を実施。チームリーダーを決め、月1回のペースでオンライン会議を運営しています。将来のPT複数設置を前提に「興行系」「社会包摂系」「その他」に分類し協議しており、現在「興行系」についてファミリー向け作品のツアーや演劇、あるいは音楽公演のネットワーク化の可能性を検討しています。都市圏だけでなく中小ホールを中心に、公文協が組織をあげてサポートできる実施事業の提供と斡旋を進めていきます。

今後の展望

まずモデルケースとして、1館あたりの負担が“50万～100万円以下”で上演可能な公演のネットワーク化を提案・公募・実施し、問題点があれば修正を加えながら次の公演を検討していきます。それと同時にPTの下に事業環境ワーキンググループのような枠組みを作り、全国のさまざまな制作担当者にも加わっていただいて、細かな分野ごとの議論および新たな公演提案を行っていきたいと考えています。

部会名

特別部会

委員会の目的

特別部会は、専門委員会の中で他の2部会(経営環境部会・事業環境部会)の範疇に収まらない、かつ公立文化施設における現在の課題や理事会から諮問される議題について検討し、理事会に提案する場として設置されています。

近年の主な取り組み

コロナ禍前は、研究大会(年1回の総会とともに開催)での発表内容について委員会が事務局に集まり、3度の対面会議で検討するにとどまっていました。しかし新型コロナの影響下でリモート会議が一般化したこともあり、議論や意見交換をオンラインで行う機会が比較的容易に、かつこれまで以上の頻度で設けられるようになりました。

あわせて公文協の執行体制も大きく変化し、積極的な議論を推奨する体制へと変わりました。ただし、専門委員会の委員は各地区から持ち回りでの選出も多く、公立文化施設での勤務経験が少ない方や現場経験の少ない方が選ばれたり、異動・退職による任期途中での委員交代、また館長など役職の高い方が選出されることもあり、現場スタッフの意見を反映できていないのではないかと疑問に思うこともありました。近年では、理事会からの諮問により令和4年度に山形で開催される研究大会の内容や方法について検討し、「聴講型」の内容から参加者との議論を活発化できる「内容重視型」への変更を提案いたしました。ある程度は実現できたものの、参加者の議論を活発化するためにはさらなる努力が必要です。またオンラインを活用することで、検討課題にあわせて実務者が議論に参加できるようになり、実際的な議論が活発に行えるようになりました。

今後の展望

今後の展望としては、特別部会としてオンラインを活用し、検討議題にあわせて全国各地の現場実務者とともに議論ができる機会を拡げること。さらには全国の公立文化施設の先にいる市民の方々の存在を意識し、大小様々な規模の施設が直面している課題について議論し、文化庁などに向けて積極的に意見を届けること。あわせて、ジェンダーギャップをはじめとする社会状況に応じた課題についても取り上げていく必要があると考えています。

全国公立文化施設協会 設立60周年記念

地域コミュニティ創造・再生事業 企画提案コンペティション

入賞/実施報告

協会の設立60周年を記念し、各地域の公立文化施設が地域住民とともに創り上げ、コロナ禍で疲弊した各地域の発展を地域コミュニティの創造・再生を通じて支える事業について、企画提案コンペティションを実施しました。

数多くの施設から地域の創造と再生に向けた熱意ある企画をご応募いただきましたが、審査委員会により厳正な審査を実施し、下記のとおり入賞企画を決定しました。

入賞企画(50音順)

上越シニア劇団
(上越文化会館)

TACTおとアート
(荘銀タクト鶴岡[鶴岡市文化会館])

HINO BIG TIME GROOVE
(日野町町民会館 わたむきホール虹)

審査員講評

当コンペティションには、数多くのご応募をいただきました。いずれの企画も地域の創造と再生に向けたもので、未来への熱い思いが伝わる内容を前に、審査員会では熱い議論が交わされました。

熟慮検討の結果、既存の事業と異なる視点を持ち、かつ地域に根差し、さまざまな団体・個人と連携・協働する3企画を選定いたしました。



入賞企画

上越シニア劇団



「演劇って面白いね!」その想いを胸に。

海や山に囲まれた新潟県上越市では、豊かな自然が人々の暮らしを見守っています。大雪に閉ざされ春を待つ、その強い想いは新しい季節の訪れを一層光輝くものにしてくれます。

上越シニア劇団は令和3年6月に誕生しました。きっかけは、令和元年に上演された市民創作音楽劇です。舞台未経験だった市民が、オーケストラの生伴奏に合わせて歌い踊るので、稽古当初の現場は混乱を極めました。上演が危ぶまれていたとき、立ち上がってくれたのが教育大学の大学院生であり、シニア世代の出演者だったのです。仲間を作り、日々元気と明るさを増していくシニアを見て、「この活動は継続しなくてはならない。これこそ文化会館の役割だ」と感じたものです。

それから2年の準備期間を経て、劇団の結成に至りました。“シニア”の基準は個人の判断に任せ、とにかく生きがいと張り合いのある生活を送りませんかと呼びかけています。令和4年3月には上越市民演劇祭に初参加、初舞台を踏みしました。いろいろと課題はありますが、頂いた賞はシニア劇団の勲章です。在籍者数21名、これからさらに飛躍していきます。



●施設情報

上越文化会館は昭和53年5月竣工のホール施設で、地上4階建て、延べ面積は6,686㎡です。指定管理者による管理の条例が平成16年に制定され、翌年に株式会社 NKS コーポレーションが指定管理者に認定。それ以来、同社が管理業務に当たっています。年間の事業本数は鑑賞、創造、普及・育成合わせて約30本を実施しています。

入賞企画

TACTおとアート



市民自ら楽しみ、魅力を発信するイベントへ。

「TACTおとアート」は、“鶴岡の音とアート”に触れられる市民参加型の入場無料イベントです。当館の特徴ある構造（大ホールを囲んで一周できる回廊型エントランス）や開放的な空間を生かし、歌唱・楽器演奏・バンド・ダンス・アート作品展示・ライブペインティングやワークショップなどが行われました。本事業は、当館の市民サポーターのうち「アーティスト部門」に登録する方が主体的に携わることを意識した取り組みでもあります。参加者自らが出演・運営・制作に関わることで人材の発掘と育成、市民の創作活動の活性化、そして荘銀タクト鶴岡を拠点とした鶴岡の魅力発信が期待できるものとして企画されました。

イベントは当初、令和3年8月の開催を予定していました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響により翌年3月に延期となったものの拡大傾向が収まらず、参加者の安心・安全を考慮し無観客収録へ切り替えたものです。撮影動画は、イベント自体への興味関心を引き宣伝効果を狙うプロモーションビデオ、出演アーティストのインタビューやトークバラエティ番組「たくとの誰でもおとアート」として作成・編集し、SNSやHPで広く配信しました。



●施設情報

当館は、平成30年3月に鶴岡市の新たな文化芸術発信の拠点として開館しました。当初の3年間は市直営でしたが、令和3年4月からは（一財）鶴岡市開発公社とNPO法人鶴岡市芸術文化協会のJVである「タクトつるおか共同企業体」が指定管理者となり、管理運営を行っています。

入賞企画

HINO BIG TIME GROOVE



芸術の力で、文化の発展と地域活性化を支える。

文化芸術で地域活性化を考える日野町文化振興事業団と、それを願う地元商工会青年部、そしてアートの最先端を行く当町出身のペインター Dragon76 が出会い、野外フェス「HINO BIG TIME GROOVE」はスタートしました。

平成30年はキャンプフェスとして2日間の開催で約2,500名、令和元年は歴史ある神社にて1日の開催で約1,500名の来場者を集めました。新型コロナウイルスの影響で2年間開催できませんでしたが、今年は神社にて2日間開催します。Dragon76プロデュースのもと、当事業団と商工会青年部が実行委員会を組織して準備から本番、撤収まで行っております。当日は Dragon76によるライブペインティングや、来場者が自由にペイントできるフリーウォールを設置。有名アーティストの音楽ライブや、ダンサーを招いてのワークショップ、地域の食材を使ったマルシェ等、子供から大人まで1日楽しめる内容です。また商工会青年部とともに運営していることもあり、地元企業から多くの協賛をいただき入場無料としています。

日野町の文化の発展と、地域活性化の起爆剤となるイベント作りを行っております。



●施設情報

平成5年1月に滋賀県日野町にオープンした当館は、来年で30周年を迎えます。平成18年より指定管理者として(公財)日野町文化振興事業団が管理運営を担い、町の文化発信基地としてお化け屋敷や合唱祭、「HINO BIGTIME GROOVE」等を展開してきました。近年は、コロナ禍にあってもライトアップコンサートを立ち上げる等、各団体や地域との連携を強め、「絆」をテーマに日野町の文化芸術活動を支えるべく奮闘しております。

賛助会員名簿(50音順)

公益社団法人全国公立文化施設協会は、
下記の皆さまからご支援をいただいております。

| | |
|---------------------|---|
| RX Japan 株式会社 | 〒163-0570 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル18階 |
| 株式会社アイエス | 〒160-0004 東京都新宿区四谷3丁目7番地 無三四堂ビル7階 |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 〒103-8250 東京都中央区日本橋 3-5-19 |
| 有限会社アイケイ・オフィス | 〒150-0047 東京都渋谷区神山町 36-8 |
| 株式会社IC | 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポートE館 |
| アオイスタジオ株式会社 | 〒106-0045 東京都港区麻布十番 1-1-14 |
| 株式会社アカシック | 〒107-0062 東京都港区南青山 1丁目2番6号 ラティス青山スクエア |
| アクティオ株式会社 | 〒153-0043 東京都目黒区東山 1丁目5番4号 KDX 中目黒ビル6階 |
| A.T.Network | 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町 2-1-217 |
| 株式会社エニー | 〒104-0054 東京都中央区勝どき 3-3-7 ケンメディアビル6階 |
| 株式会社NHKアート | 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1丁目18番4号 東和富ヶ谷ビルB1 |
| 株式会社NHKエンタープライズ | 〒150-0047 東京都渋谷区神山町 4-14 |
| 株式会社エムズプロデュース | 〒530-0044 大阪市北区東天満 2-2-7 ベルル南森町7F |
| 株式会社オカムラ | 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート24F |
| 有限会社オフセンター | 〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-44-7 蒲田公園マンション205 |
| 株式会社関芸プロモーション | 〒600-8005 京都市下京区四条通柳馬場角 京都フコク生命四条柳馬場ビル6F |
| 北原 隆 | 東京都 |
| 協愛株式会社 | 〒530-0047 大阪市北区西天満 3丁目 8-20 |
| 株式会社共立 | 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-40-13 |
| 有限会社空間創造研究所 | 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 2-6 南平台ヒルス202 |
| 株式会社クリアライブ | 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-5-16 |
| 株式会社芸術の保険協会 | 〒107-0062 東京都港区南青山 6-12-3 南青山ユニハイツ305 |
| 株式会社ケイミックスパブリックビジネス | 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-2 風雲堂ビル4階 |
| 公益社団法人劇場演出空間技術協会 | 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-8-6 第一古川ビル |
| 有限会社古典空間 | 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 10-2 西俣ビル1F |
| コミュニティ・ネットワーク株式会社 | 〒113-8509 東京都文京区本郷 3-19-2 BHビル |
| 株式会社コンサートサービス | 〒162-0802 東京都新宿区改代町 35 トレイサリー大澤 |

| | |
|---------------------------|--|
| 株式会社サイオー | 〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-12-4 |
| 株式会社サウンドダック | 〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢1丁目17-15 |
| サントリーパブリシティサービス株式会社 | 〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24 豊洲フォレシア16F |
| 株式会社シアターワークショップ | 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6丁目23番3号 第9SYビル4階 |
| 株式会社シグマコミュニケーションズ | 〒108-0014 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル3階 |
| 重本 昌信 | 東京都 |
| 株式会社ジャパン・アーツ | 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-1-6 |
| 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 | 〒601-8203 京都府京都市南区久世築山町99番地 |
| 松竹株式会社 | 〒104-8422 東京都中央区築地4-1-1 |
| 株式会社ジョーカンプランニング | 〒520-2134 滋賀県大津市瀬田2-3-20 |
| 株式会社精養軒 | 〒110-8715 東京都台東区上野公園4-58 |
| 株式会社総合舞台オペレーションズ | 〒156-0052 東京都世田谷区経堂5-28-20 |
| 株式会社宝塚舞台 | 〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町1-1-57 |
| 武井 明彦 | 埼玉県 |
| 株式会社タムラ製作所 | 〒178-8511 東京都練馬区東大泉1-19-43 |
| 株式会社中京テレビ事業 | 〒453-8701 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番地11 中京テレビ本社ビル7階 |
| ティーエーエヌジー株式会社 | 〒560-0004 大阪府豊中市少路1丁目2番7-306号 |
| TAプラットフォーム株式会社 | 〒870-0037 大分県大分市東春日町17番57号 |
| 株式会社伝統芸能オフィス | 〒249-0005 神奈川県逗子市桜山8-16-46 |
| 伝統芸能 株式会社ナカツボ・アーツ | 〒221-0821 横浜市神奈川区富家町1丁目13 スカイハイトーカイ2005号 |
| 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 | 〒135-0002 東京都江東区住吉1丁目19番1-203号 |
| 株式会社東京舞台照明ホールディングス | 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-51-4 |
| 株式会社東京舞台照明 | 〒135-0015 東京都江東区千石1-14-21 |
| 株式会社東京舞台照明大阪 | 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町7-15 |
| 株式会社東舞トータルサービス | 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-18-12 Eビル506 |
| 東芝ライテック株式会社 | 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 |
| 東邦レオ株式会社 | 〒811-3425 福岡県宗像市日の里5-3-98 日の里団地48-102 |
| 社陵印刷株式会社 | 〒104-0045 東京都中央区築地2-3-4 築地第一長岡ビル9F |
| 日本耐震天井施工協同組合 | 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18階 |
| 一般社団法人日本のおどり文化協会 | 〒163-1030 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー N30F |
| 株式会社ネイチャーライフ | 〒522-0222 滋賀県彦根市南川瀬町1547 |
| 野村不動産パートナーズ株式会社 | 〒163-0562 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル21階 |

| | |
|----------------------------------|--|
| 株式会社パストラレ | 〒164-0012 東京都中野区本町2-54-13 黒須ビル3F |
| パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 | 〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048 |
| ハンブトンジャパン株式会社 | 〒370-0831 群馬県高崎市あら町206番地 高崎あら町センタービル7階 |
| びあ株式会社 | 〒150-0011 東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー |
| 株式会社ビューティフルワンズ | 〒112-0006 東京都文京区小日向1-12-11 |
| 株式会社フクシ・エンタープライズ | 〒136-0072 東京都江東区大島1-9-8 |
| 藤井 亮子 | 〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7-703号 株式会社インターナショナルカルチャー内 |
| 株式会社ブルーノート・ジャパン | 〒107-0062 東京都港区南青山6-3-16 |
| 株式会社ブレインファーム | 〒107-0052 東京都港区赤坂4-1-1 SHIMA 赤坂ビル2階 |
| 株式会社プロ アルテ ムジケ | 〒112-0013 東京都文京区音羽1-20-14-5F |
| 株式会社文化科学研究所 | 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-43-7 光ビル4階 |
| 牧野 俊浩 | 埼玉県 |
| 株式会社松尾楽器商会 | 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビルB2 |
| 株式会社丸井工文社 | 〒107-0062 東京都港区南青山7-1-5 |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1 |
| 株式会社ミック | 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-2-20 |
| 宮地 宏征 | 〒106-0047 東京都港区南麻布1-8-21 THE CLASS MINAMIAZABU 815号室 |
| 株式会社明治座 | 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 |
| 弁護士 望月 賢司 | 〒107-0061 東京都港区北青山3-10-9 川島ビル7階 |
| 森平舞台機構株式会社 | 〒111-0033 東京都台東区花川戸2-11-2 |
| ヤマハサウンドシステム株式会社 | 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 KDX 箱崎ビル |
| 株式会社ヤマハミュージックジャパン | 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 |
| 横田 明子 | 東京都 |
| 株式会社ラムサ | 〒221-0043 神奈川県横浜市神奈川区新町5-4-204 |
| Riedel Communications Japan 株式会社 | 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町7-9 DEN FLAT 南平台101・204 |
| 株式会社 Reproduction | 〒223-0064 神奈川県横浜市港北区下田町2-2-14 |
| 株式会社リンクステーション | 〒030-0947 青森県青森市浜館2丁目1番1号 |
| 株式会社和光トランスポート | 〒351-0115 埼玉県和光市新倉5-2-21 |

※令和4年8月1日現在(敬称略)

賛助会員ご入会のお願い

当協会は、公立文化施設のネットワーク化と地域文化振興の組織的な取り組みを強化することを目的とし、今後もより一層の取り組みを進めていく所存でございます。これらの活動を充実していくために、多くの団体・個人の皆さまのご理解を賜りたく存じます。ご賛同とご入会を、心よりお待ち申し上げます。

申込書等は、「全国劇場・音楽堂等総合情報サイト」より入手できます。



祝 60 周年記念 お祝い申し上げます



人を育て
信頼と
実績のなかで



めざすは日本全国の
文化芸術振興



株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

パリオプロモーション

私たちの目的は、
素晴らしいアーティストの発掘・紹介に力を注ぎ、
まちづくりの一環として、
日本全国の文化芸術を振興することです。
また、イベントの企画だけではなく、
助成金の促進活用も
積極的に斡旋しています。



イベント事業部 総括責任者

石田 達也

〒601-8203 京都市南区久世築山町99番地 TEL.075-924-2582 (代) FAX.075-924-2803

E-mail pario-pro@n-shuppan.co.jp

貸館・チケットイング・講座運営を支援する3種のクラウドサービスです。

施設予約システム

いつでも貸館



- ✓ WEBで施設の空き照会・予約・抽選
- ✓ 予約台帳を電子化し、業務効率化
- ✓ キャッシュレス決済に対応
- ✓ デジタルサイネージに催し物を表示
- ✓ 許可書発行、統計・集計帳票作成を自動化

チケット販売システム

いつでも発券



- ✓ WEBで座席を選択しチケット購入
- ✓ チケット販売効率が向上
- ✓ 直接販売で委託手数料を削減
- ✓ コンビニで発券（セブン、ファミマ）
- ✓ 電子チケットに対応

講座運営システム

いつでも学習



- ✓ WEBで講座の予約が可能に
- ✓ 講座情報・講師・受講生を一元管理
- ✓ キャンセル待ちの対応も管理
- ✓ WEB集客で講座の参加率がアップ
- ✓ 講師の謝礼金も管理が可能

無償バージョンアップでいつでも最新システム
すべて無料トライアル（試使用）が出来ます。

インボイス
対応済み

株式会社パストラーレ
<http://pastorale.jp>

担当：笠井、田中、井尻
MAIL: contact@pastorale.jp
TEL: 03-3320-6200

いつでもシリーズ

検索

より美しく、記憶に残る思い出に。
指先ひとつで華やかなカラー演出を簡単に。



小・中規模施設におすすめ
〔小ホール・宴会場・学校〕

NEW

PASTEL PLENO用
拡張型カラー制御モジュール

CoCoMo

「PASTEL PLENO」をシステムアップするカラー制御モジュールが
省スペースで設置可能なA4サイズで新発売。

「PASTEL PLENO」に増設することで、カラー制御を直感的に
簡単操作。色味設定なしでカラーLED照明器具を点灯できます。



パステルプレノ
+
CoCoMo



フリーパレットには自分で
作成した色を記憶できる。



簡易モニターを見ながら
さらに細かな色味調整も。

様々な器具に対応が可能で、1器具あたり最大
20CHまでのカラーバリエーションに対応。



調光卓 cocomo 検索



パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048 TEL06-6908-1131(代表)

創業50周年を迎える経験豊富なチケットエージェンシーぴあが提供する

ASP型チケット販売・管理システム

ぴあ Gettii

ゲッティ

さまざまなニーズに対応する「チケット販売・管理/会員管理システム」

- 非接触販売(オンラインチケット販売)
- 購入者・来場者管理
- 非接触入場(電子チケット)
- 公演中止に伴うチケット代金等払戻機能
- キャッシュレス販売(窓口)
- チケットぴあとの連携機能
- etc

ぴあ Gettii とは



ぴあGettiiの運営は、
ぴあ(株)と(株)リンクステーションの
共同サービス



主催者様が直接チケットを
販売、管理するための
システムツール



チケット販売の決済システムは
ぴあGettiiで一本化



ASP(Application Service Provider)型
チケット販売・管理システムを
手軽に導入



多彩なジャンルの
主催者様(企業・団体)のご利用実績

ぴあ Gettii をお勧めしたい理由



国内導入実績TOPの安定した
システム



ご導入後操作方法等への充実した
アフターフォロー



多彩なオプション機能を
追加導入費用なしでご提供



主催者様のご要望をベースとした
機能開発



外部販売チャンネルとの連携

ぴあ Gettii 導入・運用のお問い合わせ

ぴあ株式会社 ぴあGettii事業推進部

ぴあGettii

※「ぴあGettii」と検索してください



QR読取はこちら

SAIO

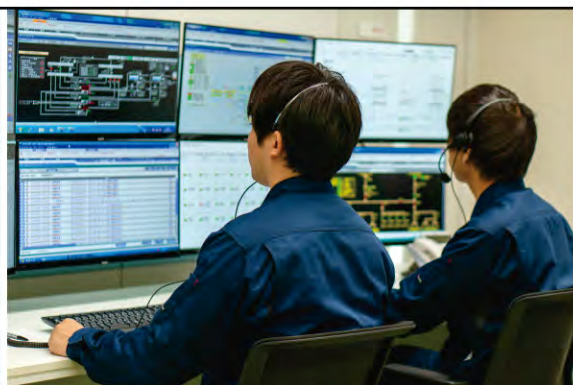
株式会社 サイオー

公共施設の管理、運営に
お悩みのご担当者様へ。

今後より多彩な広がりを見せるPFI・PPP事業。
これまでの指定管理者としての豊富な実績を基に、
より効率的なPFI・指定管理者、包括管理サービスを
ご提案し、自治体の様々なお悩みにお応えいたします。

実績

埼玉県立武道館
さいたま文学館・桶川市民ホール
文化総合センター大和田
北本市体育センター
大宮武道館 他



■ 指定管理、PFI、PPP事業

■ 設備遠隔監視

■ ビル管理、舞台管理

お問い合わせ先

〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-12-4

TEL:048-710-5588 / FAX:048-710-5577

MAIL:honsha@saio.co.jp

<https://www.saio.co.jp>

TOSHIBA

ウイルス抑制・除菌脱臭用UV-LED光触媒装置

UVish ユービツシュ

空気を、ウォッシュ。



据置タイプ
100
CSD-BZ100A



壁掛タイプ
100
CSD-BKC100A



据置・卓上
タイプ
CSD-B03

UVishは UV&光触媒でパワフルに除菌・脱臭



浮遊
ウイルス
抑制

浮遊
菌・カビ
除菌

浮遊
ニオイ菌
脱臭



東芝ライテック株式会社 <https://www.tlt.co.jp/>



／ ヤマハ音楽の街づくり 官民連携の取り組み ／

音楽を通じた地域活性と 持続可能な街づくりをヤマハがお手伝いします。

音楽の街づくり事業

—事例のご紹介—

福井県内広域

地域の活性化や交流人口の
拡大に向けて、音楽を活用した
街づくりを推進

福井県が掲げる地域音楽コミュニティ構想
「おとまち@福井」



千葉県柏市

地域コミュニティの希薄化を
音楽で解決するスペシャリスト
を発掘・育成

全国に先駆けた福祉イノベーション事業
「かしわファシリテーター育成講座」



東京都渋谷区

行政・NPO・区民みんなで
つくる、まちの音楽祭

渋谷の街が音楽解放区になる
「渋谷ズンチャカ!」



東京都豊島区

地域を盛り上げたいと思う方
の活躍の場をサポート

官民連携の音楽のまちづくりプロジェクト
「としまミュージックサークル」



楽器レンタル・リース事業

—コンテンツのご紹介—

LovePiano®

LovePiano®はだれでも自由に弾けるヤマハ
のストリートピアノです。地域の賑わい創出や、
魅力の発信にお役立てください。



毎日新聞社提供



TOUCH&TRYで誰でも気
軽に楽器体験。楽器に触れ
たことのない方から、久しぶ
りに触れる方まで、多くの
の方々に大変好評です。



ヤマハのさまざまな楽器がレンタルできます。
皆様の展開する文化事業にご活用ください。
またホール備品の楽器導入には当社のリース
をご利用ください。



ヤマハ
楽器・防音室
レンタル

ヤマハおとまちサイト

[https://jp.yamaha.com/
services/otomachi/](https://jp.yamaha.com/services/otomachi/)



お問い合わせ

[https://jp.yamaha.com/
services/otomachi/contact/](https://jp.yamaha.com/services/otomachi/contact/)



株式会社ヤマハミュージックジャパン
事業企画部 事業開発課

声優朗読劇 VORLESEN フォアレーゼン

人気声優が出演する、他では見られないオリジナル朗読劇
 声優の声とともに、音楽の生演奏で贈る音楽朗読劇
 クラシック音楽の作曲家や、各地の郷土史を題材にしたオリジナル台本
 朗読劇の後には、出演者たちによるトークコーナーも

VORLESEN
フォアレーゼン
～花の一本の影～

2022年10月23日(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～疑惑～

10.16(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～遺志～

10.2(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～無頼～

9.25(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：少人劇場中川ホール

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～花の一本の影～

9.18(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～ルクレチアの暗殺～

9.3(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：大塚市民文化センター

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～ルクレチアの暗殺～

8.28(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～ルクレチアの暗殺～

7.31(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～泣いた殺し屋～

7.24(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：岐阜市民会館 大ホール

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～ルクレチアの暗殺～

7.10(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：大塚市民文化センター

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～加藤民吉～

6.25(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～ハンデル代記～

6.19(日) 14:15-15:00

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥7,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～千利休～

5.22(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：サンスクエア堺

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～山野辺義芸～

5.1(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：目黒市民会館ホール

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～ハンデル代記～

3.19(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：堺市民文化ホール(くすのきホール)

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～山原貞景～

3.13(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：甲斐市双葉ふれあい文化館

全席指定 ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～宮沢賢治～

3.5(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：花巻市文化会館 大ホール

全席指定 ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～宮沢賢治～

2022.2.6(日) 14:30開演 / 15:00入場

会場：花巻市文化会館 大ホール

全席指定 ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～ハンデル代記～

2022.1.23(日) 15:00開演 / 16:30入場

会場：川口市市民文化センター

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

VORLESEN
フォアレーゼン
～ハンデル代記～

12.26(日) 15:00開演 / 16:30入場

会場：川口市市民文化センター

全席指定 ¥4,000 / ¥4,500

企画制作 ティーエーエヌエー株式会社
 大阪府豊中市少路1-2-7-306 TEL.06-6850-7151



感動を支える 伝統と革新

Morihei

舞台機構の設計・製作・施工・メンテナンス

森平舞台機構株式会社

<https://www.morihei.com/>

本社：〒111-0033 東京都台東区花川戸二丁目11番2号 TEL 03-3842-1621 FAX 03-3845-1766

北海道出張所：TEL 011-884-7877 東北出張所：TEL 022-226-7210 富山出張所：TEL 076-444-4087

名古屋出張所：TEL 052-684-5667 大阪出張所：TEL 06-6251-2559 九州出張所：TEL 092-473-6980

埼玉工場（本社分室）：TEL 048-223-6431 栃木工場：TEL 028-665-6245

川井郁子

ヴァイオリン・コンサート ～ 名曲物語 ～



誰もが知っている名曲、人生の転機となったあの名曲、愛する人と一緒に聴いたあの名曲…
デビュー20周年を記念してリリースされた最新CD収録曲を中心にした名曲プログラムを
川井郁子と素敵な仲間たちによる編成、そして銘器ストラディバリウスの音色でお届けします。



- ◎チャルダッシュ ◎モルダウ ◎リベルタンゴ
- ◎愛の讃歌 ◎ホワイトレジェンド～白鳥の湖より～
- ◎ホール・ニュー・ワールド ◎キャラバンの到着
- ◎シェルプールの雨傘 ◎Forever Love 他



川井郁子と関根勤の
おしゃべりシネマ・クラシック

映画音楽の名曲プログラムを
二人の楽しいおしゃべりと
素晴らしい演奏で
お楽しみください。

演奏予定楽曲

- ◎ウェストサイド・ストーリー ◎サウンド・オブ・ミュージック
- ◎ひまわり ◎ニュー・シネマ・パラダイス ◎男はつらいよ
- ◎カサブランカ ◎ディズニアニメ 他



川井郁子

和楽器と洋楽器によるオーケストラ

響

～ひびき～

フィギュアスケートやドラマ・映画を彩った
ドラマティックな音楽世界

デビュー20周年記念コンサートを機に結成された、和洋混合オーケストラ響。
和楽器隊とオーケストラが奏でる繊細で雄大な世界観と、
上田大樹による最新の映像技術とのコラボレーションで、
葛飾北斎や舞踏、桜などの題材による唯一無二の世界観をご体感下さい。
(映像はオプションとなります)

演奏予定楽曲

- ◎春の海 ◎ホワイトレジェンド～白鳥の湖より～ ◎ふるさと ◎麒麟がくる
- ◎真田丸 ◎天地人 ◎もののけ姫 ◎千と千尋の神隠し
- ◎信長の野望 ◎夕顔～源氏物語より～ ◎さくら ◎哀しみのグラツィア 他

演奏編成

和楽器合奏+弦楽合奏(5名)
(和楽器隊…笛、尺八、箏、琵琶、鼓、笙、箏、和太鼓 等)

演奏編成

ピアノ伴奏(最小規模)、弦楽アンサンブル、和楽器を加えた編成、
フルオーケストラとのシンフォニックコンサートまで、ご予算・ご要望に応じた内容でご提供させていただきます。

■お問合せ: 有限会社アイケイ・オフィス mail@ik-office.jp または Tel.03-3460-0717 まで

初期費用 固定月額 ￥0

手軽に導入! 専用機器はいりません!

LINEと連携したクラウド型のチケットシステム



チケットレス de タッチレス

電子チケットでのスムーズな入場

ソーシャルディスタンスを考えた席割りも設定可能!

導入企業・自治体から、喜びの声が続々

コロナによる延期や中止のお知らせが一発でできた

大手プレイガイドより **はるかに安い**ので、年度予算を意識せずに導入ができた

お客様からも **便利になった**と評判の声を頂いた!

お問い合わせ先

株式会社 I C

〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7 大森ベルポートE館9F

TEL: 0120-937-681 担当: 森元、小薮 ticket-line_inquiry@ic-net.co.jp



利用者本位

確かな技術とホスピタリティでサポート

舞台・ホール・劇場運営管理・視聴覚施設運営管理

株式会社 **シグマ コミュニケーションズ**

〒108-0014 東京都港区芝 4-1-23 三田NNビル 3F

TEL : 03-4531-6572 FAX:03-3451-9973

URL : <https://www.sigma-com.co.jp>

ハンプトンジャパン株式会社 2023年度 ご提案企画

社会風刺コント集団 **ザ・ニューズペーパー**



政治・経済・事件・芸能…
あらゆる分野で旬の
ニュースをコントにして
舞台化。笑えない世情
を笑い飛ばす、痛快無比
なステージ!!

オリジナルコント“地元ネタ”で、我が町の良さを再発見!!



八神純子



岡本知高



三浦祐太郎

みうらじゅんフェス!

マイブームの全貌展

「マイブーム」の命名者。膨大かつ深淵な創作活動から見えてくる「マイブーム」の起源とみうらじゅんの人物像に迫るフェス(展覧会)。



宇崎
竜童

JUST GUITAR
JUST VOCAL



清水
ミチコ
トーク&
ライブ



古謝美佐子

「沖縄のこころのうた」
「沖縄音楽フェスティバル」

海外アーティストの招聘からコンサートの企画・制作まで、社内一貫制作システムですので、オリジナリティに富んだ企画を低価格でお届けします。ご不明な点などございましたら是非、お気軽にお問い合わせ下さい。詳しい資料やお見積など迅速に対応いたします。



ハンプトンジャパン株式会社

☎ 0120-13-1213

〒370-0831 群馬県高崎市あら町206番地 あら町センタービル7F tel.027-320-7323 fax.027-322-6040

URL : <http://www.hamptonjapan.com> E-mail : info@hamptonjapan.com

文化施設の『安全・安心』な 空間づくりに貢献します

JACCA 天井耐震診断から始めましょう

大規模地震による音楽ホール、劇場などの天井の脱落が繰り返し発生しています。2015年に改正・施行された建築基準法第12条「定期調査・報告制度」では建物所有者・管理者に特定天井の天井裏の定期点検が義務付けられています。

JACCA 天井耐震診断は、天井の専門家としての視点による天井の調査および法令等に対する適合性を判定する診断で、12条定期報告制度の補助資料としても活用することが可能です。

市民のいのちを守るために、まずは JACCA 天井耐震診断から始めてみませんか？



日本耐震天井施工協同組合

〒100-0011
東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 18階
TEL : 03-3539-6569 MAIL : info@jacca.or.jp
HP : https://www.jacca.or.jp/



天井耐震診断はこちら

みんなで一緒に舞台を楽しむためにご利用ください

TA-netは「みんなで一緒に舞台を楽しもう」を合言葉に、ろう・難聴の当事者が主体となって活動する観劇支援団体です。

NPO法人

シアター・アクセシビリティ・ネットワーク
NPO Theatre Accessibility network TA-net



アクセシビリティ公演 情報サイト

<http://ta-net.org/event/>

アクセシビリティ情報に特化した公演情報サイトです。毎週1件以上新着あり。スマホからも利用可能。2014年7月に開設以来、掲載件数は1200件を超えています。希望する公演を絞り込み検索、公演情報の掲載依頼もできます。2019年2月にリニューアルし、より使いやすくなりました。



無料

TA-netが発行する メールマガジン

<https://sv1.mgzn.jp/sys/reg.php?cid=M911717>

下の2つのメールマガジンを発行しています。上記URLからメールアドレスを登録するだけ！

- ▶ 第2・第4木曜日夜20時に配信
アクセシビリティ公演情報 ~観ゲキ!感ゲキ!~
- ▶ 第1・第3金曜日夜20時に配信
TA-net通信 ~舞台からの香り~



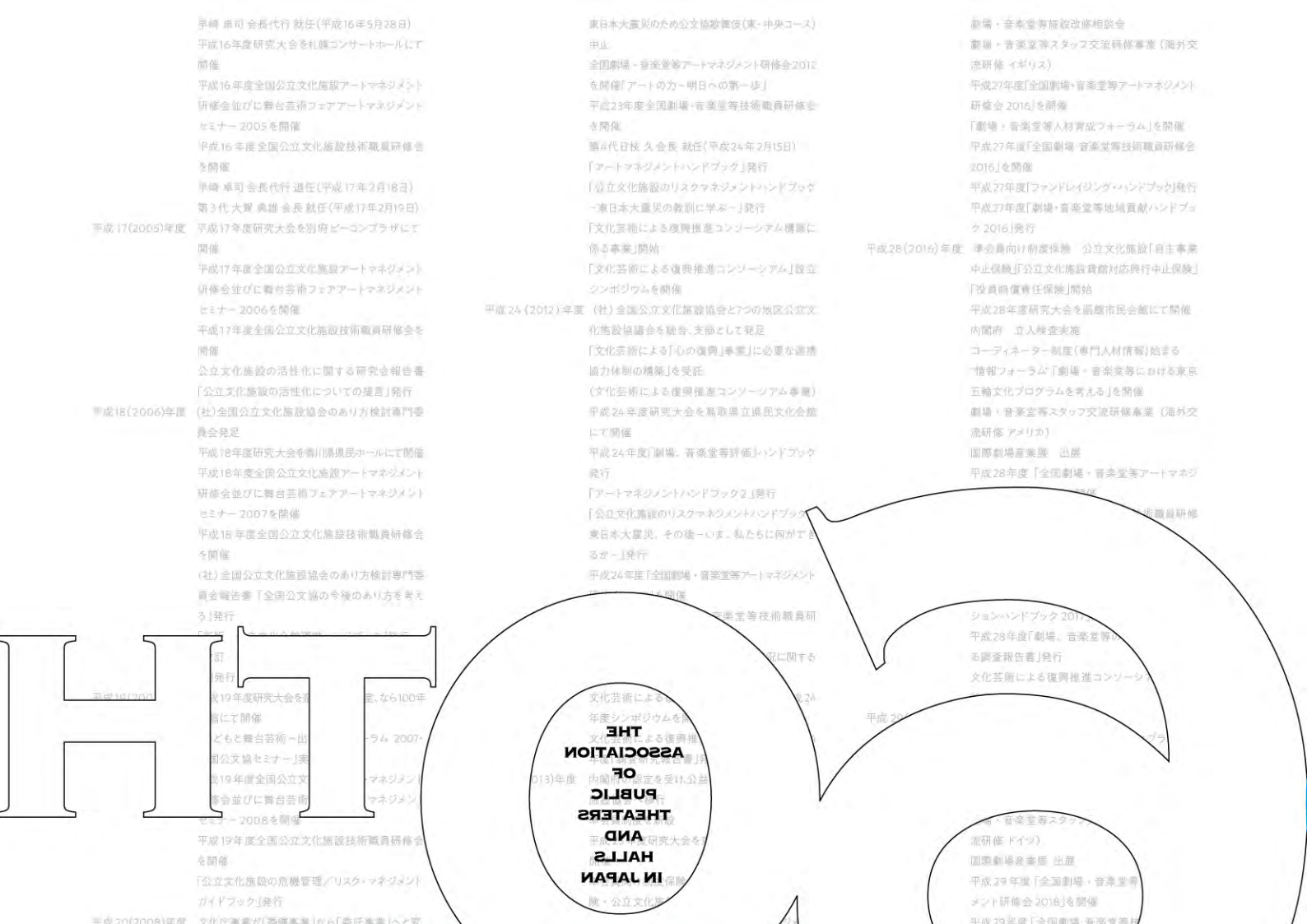
文化庁委託事業「令和4年度障害者等による文化芸術活動推進事業」 制作：シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 主催：文化庁、シアター・アクセシビリティ・ネットワーク

■事務局への連絡先

問合せ ……▶info@ta-net.org
ウェブサイト……▶http://www.ta-net.org

ブログ………▶http://blog.canpan.info/ta-net
Facebook……▶http://www.facebook.com/tacc.net





平成16年度研究大会を札幌コンサートホールにて開催
平成16年度全国公立文化施設アートマネジメント研修会並びに舞台芸術フェアアートマネジメントセミナー 2005を開催
平成16年度全国公立文化施設技術職員研修会を開催
厚崎 卓司 会長代行 退任(平成17年2月18日)
第3代 大賀 典雄 会長 就任(平成17年2月19日)

平成17(2005)年度
平成17年度研究大会を別府ビーコンプラザにて開催
平成17年度全国公立文化施設アートマネジメント研修会並びに舞台芸術フェアアートマネジメントセミナー 2006を開催
平成17年度全国公立文化施設技術職員研修会を開催
公立文化施設の活性化に関する研究会報告書「公立文化施設の活性化についての提言」発行
(社)全国公立文化施設協会のあり方検討専門委員会発足

平成18(2006)年度
平成18年度研究大会を香川県県民ホールにて開催
平成18年度全国公立文化施設アートマネジメント研修会並びに舞台芸術フェアアートマネジメントセミナー 2007を開催
平成18年度全国公立文化施設技術職員研修会を開催
(社)全国公立文化施設協会のあり方検討専門委員会報告書「全国公文協の今後のあり方を考える」発行

平成19(2007)年度
平成19年度研究大会を香川県県民ホールにて開催
平成19年度全国公立文化施設アートマネジメントセミナー 2008を開催
平成19年度全国公立文化施設技術職員研修会を開催
「公立文化施設の危機管理/リスクマネジメントガイドブック」発行

平成20(2008)年度
文化庁事業が「委嘱事業」から「委託事業」へと変更となり、競争競争、競争入札による受注方式となる
(社)全国公立文化施設協会事務局 東京市有明センタービル11階(有明ビル2階)に開設
平成20年度全国公立文化施設アートマネジメント研修会並びに舞台芸術フェアアートマネジメントセミナー 2009を開催
平成20年度全国公立文化施設技術職員研修会を開催

平成21(2009)年度
平成21年度研究大会を千葉県文化会館にて開催
「公文協歌舞伎40年史」発行
平成21年度全国公立文化施設アートマネジメント研修会並びに舞台芸術フェアアートマネジメントセミナー 2010を開催
平成21年度全国公立文化施設技術職員研修会を開催
平成21年度「地域の劇場・音楽堂等の活動の基準に関する調査研究報告書」発行

平成22(2010)年度
平成22年度研究大会を秋田県民会館にて開催
平成22年度全国公立文化施設アートマネジメント研修会並びに舞台芸術フェアアートマネジメントセミナー 2011を開催
平成22年度全国公立文化施設技術職員研修会を開催
平成22年度「公立文化施設における指定管理者制度導入状況に関する調査報告書」発行
平成22年度「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」発行

平成23(2011)年度
(社)全国公立文化施設協会事務局を東京都中央区銀座2丁目10番18号 東京都中小企業会館4階に移転
第3代 大賀 典雄 会長 退任(平成23年4月23日)
会長職務代理 田村 孝子(平成23年4月24日)
平成23年度研究大会を信濃市文化会館にて開催
子ども舞台芸術一歩会いフォーラム2011シンポジウム参加

東日本大震災のため公文協協賛舞夜(東・中央コース)中止
全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2012も開催「アートの力-明日への第一歩」
平成23年度全国劇場・音楽堂等技術職員研修会を開催
第4代 日枝 久 会長 就任(平成24年2月15日)
「アートマネジメントハンドブック」発行
「公立文化施設のリスクマネジメントハンドブック-東日本大震災の教訓に学ぶ-」発行
「文化芸術による復興推進コンソーシアム構築に係る事業」開始
「文化芸術による復興推進コンソーシアム」設立シンポジウムを開催

平成24(2012)年度
(社)全国公立文化施設協会と7つの地区公立文化施設協議会を統合、支部として発足
「文化芸術による「心の復興」事業」に必要な連携協力体制の構築を受託
(文化芸術による復興推進コンソーシアム事業)
平成24年度研究大会を鳥取県立県民文化会館にて開催
平成24年度「劇場・音楽堂等評価」ハンドブック発行
「アートマネジメントハンドブック2」発行
「公立文化施設のリスクマネジメントハンドブック-東日本大震災、その後-いま、私たちに何が出来るか-」発行

平成24年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会」を開催
平成24年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会」を開催
「公立文化施設の危機管理/リスクマネジメントガイドブック」発行
「劇場・ホールってどんどどこ?」「舞台の裏方ってどんな仕事?」DVD 発行
平成25年度「劇場・音楽堂等人材養成講座テキスト」基礎編」発行
平成25年度「劇場・音楽堂等人材養成講座 基礎編」報告書発行
平成25年度「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム プロジェクト検討会の開催
文化芸術による復興推進コンソーシアム平成25年度事業実施報告書 発行

平成26(2014)年度
「社団法人・財団法人向け役員賠償責任保険」開始
平成26年度研究大会を石川県立音楽堂にて開催
会計検査院 検査実施
平成26年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2015」を開催
平成26年度「劇場・音楽堂等人材養成講座テキスト基礎編」発行
テキスト発行のために、モデル講座を3箇所(静岡グランシップ、新潟県民会館、国立劇場)で実施
平成26年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2015」を開催
鹿子「公演事業資料」に代わる公演情報の総合サイト「公演企画 Nav」の開設
平成26年度「アートマネジメントの基礎用語」ハンドブック」発行
平成26年度「劇場・音楽堂等評価」ハンドブック2015」発行
平成26年度「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」発行
専門委員会再編
平成27年度研究大会を新潟県民会館、新潟市民芸術文化会館リサーチにおいて開催

平成27(2015)年度
劇場・音楽堂等評価改修相談会
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 イギリス)
平成27年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2016」を開催
「劇場・音楽堂等人材養成フォーラム」を開催
平成27年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2016」を開催
平成27年度「ファンドレイジングハンドブック」発行
平成27年度「劇場・音楽堂等地域貢献ハンドブック2016」発行
平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

令和元(2019)年度
制度保険 webサイト(会員専用)運用開始
令和元年度研究大会を豊中市立文化芸術センター(大阪府)にて開催
「劇場・音楽堂等の個別施設計画策定と施設の長寿命化」シンポジウムを実施
組織上の課題検討 PT を設置
平成31年度「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会2020」を開催
令和元年度「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」発行
「劇場・音楽堂等アクセシビリティ、ガイドブック」発行
「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」ホームページオープン
組織上の課題検討 PT フォローアップ会議を開催
新元文協会「新型コロナウイルスの影響と今後の対応」を開催
「劇場・音楽堂等における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を策定
「劇場・音楽堂等 個別施設計画策定推進オンラインセミナー」を開催
「劇場・音楽堂等感染症基本対応チェックブック」発行
令和2年度「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会2021」を開催(オンライン)
令和2年度「障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調査報告書」発行
文化庁委託事業「文化施設の感染症防止対策支援事業」運営事業を実施
文化庁委託事業「令和2年度戦略的芸術文化創

令和2(2020)年度
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行

令和2(2020)年度
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行

令和2(2020)年度
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行

令和2(2020)年度
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
令和2年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行

劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 イギリス)
平成27年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2016」を開催
「劇場・音楽堂等人材養成フォーラム」を開催
平成27年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2016」を開催
平成27年度「ファンドレイジングハンドブック」発行
平成27年度「劇場・音楽堂等地域貢献ハンドブック2016」発行
平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

平成28(2016)年度
委員会向け制度保険 公立文化施設「自主事業中止保険」「公立文化施設貸借対価発行中止保険」「役員賠償責任保険」開始
平成28年度研究大会を函館市民会館にて開催
内閣府 立入検査実施
コーディネーター制度(専門人材情報)始まる
「情報フォーラム」劇場・音楽堂等における東京五輪文化プログラムを考える」を開催
劇場・音楽堂等スタッフ交流研修事業(海外交流研修 アメリカ)
国際劇場産業展 出展
平成28年度「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会2017」を開催
平成28年度「全国劇場・音楽堂等技術職員研修会2017」を開催
平成28年度「劇場・音楽堂等」に関する調査報告書」発行
文化芸術による復興推進コンソーシアム

全国公立文化施設協会60周年記念誌

令和4年9月25日 発行

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4階
TEL:03-5565-3030 FAX:03-5565-3050
<https://www.zenkoubun.jp/index.html>



第3代 大賀 典雄 会長 退任(平成23年4月23日)
会長職務代理 田村 孝子(平成23年4月24日)
平成23年度研究大会を信濃市文化会館にて開催
子ども舞台芸術一歩会いフォーラム2011シンポジウム参加

平成27(2015)年度
専門委員会再編
平成27年度研究大会を新潟県民会館、新潟市民芸術文化会館リサーチにおいて開催